



ご挨拶

コロナの緊急事態も延期されて継続したままですが、その効果もあってか感染者も減少傾向にあります。ワクチン接種も始まりました。そんな明るい話題とともに春を思わせる暖かさです。ところが2月13日の夜11時過ぎに福島や宮城で震度6強の地震が起きました。おりしも今年は大きな被害が出た「東北地方太平洋沖地震」から10年目。しかも、今回の地震はその余震に当たるそうです。被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。春の到来が待ち遠しいですね。

【寒干し製造中 農産加工組合のかきもち】

久斗山農産加工組合のかきもち製造が最盛期となっています。寒さが厳しい、澄んだ冬の空気にさらして乾燥させることで日持ちする美味しいかきもちになります。今年は昨年より多く、百臼近い餅をついたそうです。冷めてから少し置いて堅くなった餅を短冊状に切って、2枚ずつ10組2連を藁で絡めてすだれ状につるします。けっこう手間のかかる作業です。



竹竿につるして乾燥中の6種類の色とりどりのかきもち

【雪の冷たさもへっちら！ 動物の足跡を探そう！】

今月の行事、久斗山自然教室「動物の足跡をさがそう」を2月21日に開催しました。子供10人、大人10人の参加があり、大盛況でした。朝は凍っていたものの、ぽかぽか陽気でとてもいい天気になりました。午前9時より受付を行い、集まった参加者はまずかんじきかスノーシューを装着してみて、試しにグランドの雪上を歩いて慣れてもらいます。足が重いけど、雪に沈まないで歩けることを体感で

きたら、さあ出発です！宮谷の道を往復2時間ほど歩きました。雪でたわんだ竹の間をくぐり抜けたり、倒木を乗り越えたりして、みんな元気に歩きました。雪の上にはシカやタヌキ、キツネなどの足跡が点々とついており、動物の毛の塊が雪の穴から出て、ひょっとしたら死骸が埋まっている？そんな推理をしたり…

お昼には豚汁とシカ肉を焼き肉にして食べました。



子供たちは、その後もソリで滑ったり、雪の上を転げまわって遊び、雪の冷たさも気にならないくらい暖かい一日を満喫していました。



